

NSFのスレッシュ長官と文科省、日米共同研究テーマについて合意へ（6月8日）

文部科学省の平野博文大臣と米国科学財団（National Science Foundation：NSF）のスブラ・スレッシュ長官（Subra Suresh）は、今後の日米間の共同研究内容について、災害及びビッグデータに関する研究とすることで合意したと発表した。

この合意内容について両氏は、東北地方太平洋沖地震と津波、原発事故、さらに米国における2010年メキシコ湾原油流出事故や、ハリケーン・カトリーナをはじめとするハリケーン被害など、過去数年間に両国で発生した自然災害及び人的災害が、災害予防、災害被害の軽減、そして、災害管理における研究促進の必要性を示したとし、またビッグデータ革命は、リアルタイムでの重要データの活用の実現を可能とすることから、災害被害軽減が期待できると説明している。

NSFと文部科学省は、2012年末までにより詳細な合意文書を発表することを目指し、今後実務レベルにおいて行動計画の策定に取り掛かるとしている。

具体的な共同研究内容としては、災害から得られたビッグデータの活用と、確率的災害発生予測モデルなどを用いた先端分析、モデル化、計算能力の向上や、一刻を争う意思決定に不可欠なリアルタイムデータの検知・可視化・分析・実験予測を実現する情報通信技術の回復性と反応性の向上などを含む5つのテーマが可能であるとされている。

Science Insider, Japan and the United States Eye Cooperation in Disaster Research  
<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/06/japan-and-the-united-states-eye.html>

National Science Foundation, MEXT and NSF Statement on Big Data and Disaster Research  
Collaboration From NSF Director Dr. Subra Suresh and MEXT Minister Mr. Hirofumi Hirano  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=124398](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124398)